

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立第五小学校 第3学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>・言語に関わるテストの結果、漢字の定着に課題がある。</li><li>・1学期ワークテストの結果、文学的文章で中心人物の行動や気持ちを叙述に基づいて読み取る力に課題がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・国語の学習の際は、国語辞典を身近に置き、分からない言葉など常に調べられる環境を整える。(言語に関わるテスト2学期85%、3学期90%)</li><li>・全文シートや色分けでサイドラインを引くなど行動や気持ちが分かる叙述の整理するほか、行動以外からも気持ちが分かる叙述などに力を入れ指導する。(ワークテスト3学期95%)</li></ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"><li>・単元のまとめのテストの結果、たし算の筆算、かけ算、わり算などの計算力は定着している。ひき算の筆算には課題がある。</li><li>・1学期に行った時間や長さの学習では、単位を換算することに課題があった。</li><li>・ベーシックテストの結果、問題場面を正確に捉えることに課題がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・四則計算については、定期的にドリル教材等で復習する機会を継続して設けることで、定着を図る。</li><li>・文章問題へは大切な部分に線を引く、立式の前にアレイ図や線分図に表すことを繰り返し、習慣化する。(線分図目標60%)</li></ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"><li>・1学期に行った調べ学習では、目的に応じて調べ方を検討したり、調べたことを記録したりすることに課題があった。</li><li>・調べたことを表現することに課題があった。</li><li>・1学期のワークテスト「資料の読み取りに関する問題」の結果から、資料の読み取り・理解に課題がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・見学する際はメモを取ることを声掛けし、「どのような視点でメモを取るとよいのか」を事前に指導する。</li><li>・メモを取ってきたことをもとに、どのような視点でまとめればよいのか良い例を手本として示す。さらに個別指導を徹底していく。</li><li>・資料の読み取り方を授業でさらに丁寧に扱い、テストにおける資料の読み取りに関する問題の平均正答率を80%まで引き上げる。</li></ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"><li>・テストの結果、ものの性質やきまりについて予想したり、粘り強く調べたりすることに課題がある。</li><li>・ベーシックテストの結果、事柄を比べ、違いや共通点を見つけることに課題がある。</li><li>・授業の聞き取りの結果、体験したことを生かしたり、予想を考えたりすることが苦手である。予想をノートに記述できる児童は、平均50%である。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ものの性質やきまりについて教科書を見直したり、器具の使い方に慣れるようになるまで指導したりすることで、知識・技能の定着を図る(平均正答率80%以上)。</li><li>・観察や実験を行うとき、比較するときの視点を与えることで児童一人一人の思考を深める。(平均正答率80%以上)。</li><li>・児童全員が予想をノートに記述できるように、教師の声かけを工夫する。</li></ul>